

【樹木・草花の部屋】

セイヨウトチノキ (トチノキ科トチノキ属 *Aesculus hippocastanum*)

和名 ; 西洋橡の木 **別名** ; マロニエ **英名** : horse-chestnut

ムクロジ目 落葉性広葉樹

原産地 ; ギリシャ、ブルガリア地方

花言葉 ; ぜいたく

花の色 ;



← 写真-1 マロニエの樹形

撮影日 : 2008年6月1日

撮影場所 : イギリス・ロンドン

ケンジントン公園にて

撮影者 : M さん

イギリス・ロンドンのハイドパークに隣接するケンジントン公園で見つけました。同行のご婦人が「トチノキね、マロニエなのよ・・・。」と教えてくれましたが・・・。「トチノキ=マロニエ」ではなく、正確には「セイヨウトチノキ=マロニエ」、日本でよく見かけられるのは「トチノキ(学名は *Aesculus turbinata*)」。セイヨウトチノキより小型。どちらもトチノキ科トチノキ属。

右下の人間(大人)と比較すれば大きさも・・・

写真-2 マロニエの花 ⇒

撮影日 : 2008年6月1日

撮影場所 : イギリス・ロンドン

ケンジントン公園にて

撮影者 : M さん



【樹木・草花の部屋】

写真-3 マロニエ ⇒

撮影日：2002年5月14日

撮影場所：ベルギー・デュルブイ
にて

撮影者：Mさん



2002年にベルギー・ワロン地方のデュルブイを訪れた際、撮影したセイヨウトチノキの写真も見つかりました。

<ちょっと一言>

トチノキの同じ仲間にヒマラヤ地方の北西部が原産のインドトチノキ(学名は *Aesculus indica*。英名は **Indian horse chestnut**)があるようです。セイヨウトチノキはよく耳にしますが、インドトチノキは・・・？

セイヨウトチノキを英名で **horse-chestnut** というのは、この木はクリの仲間であるという誤解と、馬の胸部疾患の治療に用いられたことに由来するそうです。

ちなみに、ケンジントン公園にはケンジントン宮殿があり、一時期、故ダイアナ妃も暮らされていたそうです。

セイヨウトチノキとトチノキの見分け方は……。花や葉ではなかなか……。ですが、セイヨウトチノキの実には柔らかいトゲがあるそうです……。